



京都・円山公園音楽堂前で請願・3000万署名活動する府本部会員

署名目標達成・国会請願成功へ 3000万署名で改憲発議を阻止しよう

国会請願 5月16日(水)

開会 11時 (受付 10時より)
衆議院第一議員会館 大会議室

3月15日、同盟は創立50周年を迎えました。今年を、新たな飛躍の年にしましょう。

「治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償を」という憲法17条の精神からも道理のある当然の要求が、戦後70年余、同盟創立後から半世紀が過ぎたいまでも、実現されないのは、歴代政府と国会議員の多数派に根強く存在している侵略戦争肯定史観と靖国皇国史観による歴史修正主義に原因があります。

しかし、安倍政権と憲法改悪勢力による改憲・「戦争をする国」づくりの共謀罪法などの戦時治安体制を敷こうとする暴走政治に反対し、憲法をまもり、個人の尊厳を擁護する政治の実現を目指す「市民と立憲野党の共闘」を発展させるならば、同盟の要求を実現する道を切り開くことができるでしょう。

そのためには、同盟はもつと「自力」をつけることが必要です。今年のうちに、DVD「種まく人びと」の大上映運動を広げて全国2万人の会員を擁する組織に発展させましょう。国会請願署名も数十万人の賛同を獲得しましょう。

3月15日、同盟は創立50周年を迎えました。今年を、新たな飛躍の年にしましょう。

中央本部会長 増 本 一 彦



創立50周年を組織と運動の新たな飛躍の年に



No.525

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

T 113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
領価 50円

事記な主な

- 祝 50周年各界からのメッセージ 3
- 私も一言／内田博文・九州大学名誉教授 3
- 顕彰碑／末永敏事・長崎県 5
- 抵抗の群像／妹尾義郎・広島県 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

祝 創立50周年

改憲許さず治安維持法弾圧者への謝罪と賠償を



日本国民救援会
会長 鈴木亜英

同盟創立50周年、おめでとうございます。戦前、天皇制政府は、海外へ侵略戦争をするすると同時に、国内では反戦平和・主権在民を唱え、社会をよくしようと運動していた人を、治安維持法によつて弾圧しました。

1928年に創立された国民救援会が、最初にとりくんだ活動は、治安維持法による大弾圧の悪名高い3・15事件で弾圧された人たちの救援活動でした。

「戦争する国」づくりを推し進める安倍政権は、国民のたたかいを抑えるために、治安維持法の再来ともいわれる「共謀罪」を強行し、さらに憲法9条の改悪を、今年中にも狙っています。

この情勢のもとで、治安維持法による弾圧の責任を、国に対して正面からただす貴団体の活動は、今日極めて重要な意義をもつています。

50年のたたかいによって、党派を超えた広い賛同を勝ちとつてござります。戦前、天皇制政府は、改憲を許さず、治安維持法によつて弾圧をされた人たちへの謝罪と賠償を勝ちとるために、国民救援会も奮闘する決意を申し上げ、メッセージとさせていただきます。

反戦平和を掲げ権力と闘つた貴同盟に敬意



自由法曹団
団長 船尾徹

戦争と暗い谷間の時代に、自由と人権、反戦平和を掲げ権力と闘つた人民に対して、治安維持法による弾圧の被害を受けた犠牲者の名誉回復と被害救済の責任を国に追及し続け、50年を迎える貴同盟の闘いに、心からの敬意と連帯の意を表明します。

女性・市民と野党の共同で暗黒政治を許さない運動を



日本婦人団体連合会
会長 柴田真佐子

この国は、貴同盟の不屈の闘いに学び、「安倍9条改憲」阻止をめざして皆様とともに走り続ける決意をもつて、連帯の挨拶を申し上げます。

この国の政権は、戦後70年余を経て秘密保護法、戦争法制、現代の治安維持法と呼ばれる共謀罪を制定し、そして、憲法9条改憲により「戦争できる国」づくりをめざして暴走しています。

私たちは、貴同盟の不屈の闘いに学び、「安倍9条改憲」阻止をめざして皆様とともに走り続ける決意をもつて、連帯の挨拶を申し上げます。

安倍政権は、秘密保護法、戦争法、共謀罪の成立を強行、憲法9条の改憲をねらい、日本を「戦争する国」へと進めようとしています。共謀罪の創設は、女性団体を含む市民団体や労働組合の運動の弾圧を可能にし、かつての治安維持法による監視・密告社会を再開させるものです。安倍改憲NO! 全国3000万署名がとりくまれています。

女性・市民と野党の共闘で再び戦争と暗黒政治を許さない運動を大きく発展させましょう。

憲法・女性差別撤廃条約にもとづく、平和・ジェンダー平等社会実現に向け共にがんばりましょう。

制定には反対の論陣を張つて闘いました。しかし、3・15、4・16の治安維持法による大弾圧により団員も検挙され、また同法違反とさられた人々のための弁護活動を理由に弁護士資格を剥奪され、1933年にその活動は逼塞させられました。この暗い谷間の時代に、後に続く者を信じて走り続けた不屈の精神と作風は、貴同盟の皆様、そして私たち団員のなかに生き続けています。

戦前、参政権もない暗黒の時代に女性たちも治安維持法の犠牲者となり、国家権力による個人の尊厳を蹂躪した性的暴行を含む「拷問」と「虐待」をうけました。女性犠牲者たちの生命と尊厳をかけた闘いは、女性参政権獲得、両性の平等を謳った日本国憲法へと結実しました。

自由法曹団は1921年に結成され、神戸の労働争議に対する官憲による人権侵害と弾圧の実態を調査し、ひろく社会に訴え、権力の暴虐と闘い、25年の治安維持法

同盟創立50周年おめでとうござ

私も一言

東京・目黒支部 結成総会で10人拡大

2月11日、東京都目黒区大橋の喫茶店を会場に、同盟目黒支部設立総会が21人の参加で行われた。それに先立ち、国賠同盟50周年記念映画『種まく人びと』が上映された。映画をみた参加者は、あの



共謀罪の創設を内容とする組織犯罪処罰法改正案が審議された2017年6月2日の衆議院法務委員会で、煙野君枝議員からの「戦後、治安維持法が否定された以上、この法律による弾圧犠牲者の救済、名誉回復をするべきではありませんか」という質問に対し、

金田勝年法務大臣（当時）は、「治安維持法は、當時適法に制定されたものでありますので、同法違反の罪に係ります勾留、拘禁は適法であります。

「治安維持法は適法」なのか

内田 博文

理由はなく、謝罪及び実態調査の必要もないものと思料をいたしております。」と答弁した。

憲法改正の動きとも連動しており、治安維持法の違法性、違憲性に焦点を当てることがますます重要になっている。

（九州大学名誉教授）

の松嶋祐一郎氏35歳である。

準備会で

安維持法犠牲者であつた方は治安維持法の恐ろしさなどを語つた。

設立総会には、都本部の吉田万三会長、菅野亨一副会長、都議の星見てい子氏、元都議の野村友子氏、新聞記者、労働組合関係者、

菊池誠一支部長は、戦前・戦中の社会にもどさないために戦争遺跡の保存と活用、治安維持法犠牲者の顕彰の重要性を語つた。

最後に、吉田会長から支部に同

盟旗が贈られ、懇親会となつた。

なお、支部の事務局長は目黒区議



菊池誠一
部長

1300人の北海道同

盟めざす拡大での教訓

北見支部1月28日、苫小牧支部2月3日に支部自主目標を達成。道全体でも大会以降2月11日まで33人が成果を上げて126人、特に12月30人、1月37人を拡大しました。教訓は次の通りです。(1)

目標を明確にする。特に節目ごとの目標を持ち、日時を決めてやりきる(2)支部役員会で本気の議論をする。なぜ今拡大なのか、「多くの人が応えてくれる情勢」を確信する(3)今は役員が先頭で拡大しているが、全会員が気楽に訴えられるように、複数で協力する取組みを(4)「入るべき人が入っていない」との声も。

(4ページへつづく)

(3ページからつづく)

身近かに対象者がいる⑤手紙（親書）、電話で訴える⑥釧路支部は矢白別演習場の真ん中に会員を拠

激動の情勢のもと国会請願署名の飛躍を

団体訪問3回、会員訪問で署名と会費納入推進へ

青森県東青支部

東青支部は、昨年5月の国会請願後、署名は出足早い取り組みが力ぎと意思統一しました。

これまでの協力団体へ早速、新年度の署名協力要請をしながら署名用紙を届け、集約日も9月、12月に設定して申し入れました。

団体からは署名用紙が返りはじめ、支部も昨年中2回、団体訪問して回収しました。その結果昨年末には支部目標の45%まで到達。

支部理事会では、この後の目標達成までが重要と論議した結果、会員に依拠することを重視し、会員訪問を計画しています。

訪問では会費納入の訴えと署名用紙も届け、創立50周年の年の国會請願成功を訴えます。会員の力を結集し成功させたいと取り組み

大するなどです。闘いに必要なところにふやすことです。

（北海道本部会長 宮田 汎）

を強めています。

大窪良一さん3千筆突破の取組みに学ぶ署名活動

北海道本部

2月1日現在の個人署名は、昨年比+690筆です。札幌支部・大窪良一さんは支部総会で4000筆目標を宣言。すでに3000筆に。超人的な取組みですが、学ぶべきは①訴える範囲が年金者、友の会、民商、老人会、麻雀会、元職場同僚など広い②国賠署名だけでなく年金、医療など各種署名を一緒に訴える③親書で署名を依頼。国賠署名は3000万署名との結合が教訓的です。励まされて300筆を一気にやつた人も。南

空知・藤田亨さんは3つ折バインダーに3種の署名を用意、町役場や農協等で訴えています。対照的なのは苫小牧支部。地域を決めて集団で励まし合いながらの署名活

動です。鶴川町に苦小牧市からも参加し雪の中、戸別や街頭で93筆も集め「またやろう」と元気です。

支部目標5千筆をめざす

長野県本部 上小更埴支部

支部には、先輩の同盟役員が努力を重ね組織した「署名協力団体」が十数団体あります。労働組合を中心診療所・法律事務所・書店などです。

毎年10月中下旬に、役員が2日

がかりで署名要請文と署名用紙を持って、「協力団体」を訪問し要請を行っています。支部が集める署名のうち「協力団体」からのものが大きな比重を占めています。

昨年7月の支部総会で取り組みの問題点などについて論議を深めて次のように取り組むことを決めました。①署名活動を全員が参加する取り組みに。（1人10筆以上を目標に）②協力団体へ丁寧な要請が必要。これまでのご協力に対する御礼と同盟に対する理解を深めさせていただくために創立50周年記念DVD「種まく人びと」を贈呈する③メーデー、各種集会などで同盟の宣伝と併せ署名に取り組む。



この春も多喜二祭が全国各地で開かれました。多喜二の代表作でもある『蟹工船』と同じタイトルの歌があることを最近知りました。多喜二の代

表作である『蟹工船』と同様の歌は村田英雄でした。発売は1959年ですが、聞いた記憶がないのでヒットしなかつたのが

よう▼蟹を網からむしりとする腕にしぶきの牙が立つ船は木の葉だ川崎舟だどうせ稼ぎは知れてるが……星野は小説や評伝を読んで、詞作しています。海が好きだった星野はおそらく多喜二の本を読んで、この詞を書いたのでしょうか▼多喜二が『蟹工船』を発表したのは29年。それから4年後の33年、特高警察に逮捕され、拷問によって命を奪われました▼3月15日は国賀同盟創立50周年の記念日。安倍政権が改憲を狙っているいま、同盟の果たす役割は重要な意味であります。歴史を後戻りさせではありません。

（鶴）



顕彰碑 探訪

蘇るとはこういうことだろう 没後72年、崇高な生涯に光が 末永敏事

すえながひんじ

末永敏事（1887～1945）。長崎県島原半島に生を受け、内村鑑三の博愛主義の影響の下、医学と医療の道一筋に生きた。

そして運命の1938年、彼は國家総動員法の下、戦争協力を求められるもそれを拒否して敢然と言ふ放つた。
「茲に拙者が反戦主義者なる事及軍務を拒絶する旨通告申上げます」

ついに逮捕、投獄。非国民として責められ、彼の存在は忌避され、人々の間からほとんど忘れ去られてしまつた。

時は経過り、ある日親族の集まりで敏事のことが話題に上つた。それからわが国賠同盟の調査が始まり、長崎新聞社編集局

長・森永玲氏の精力的な取材と報道へと進み、一挙に彼の実像が浮かび上がってきた。

そして長期にわたる新聞連載が単行本になり、並行して各地で開かれた講演会を経て敏事顕彰の機運が高まり、昨夏ついに顕彰碑が彼の故郷・南島原市北有馬町今福の墓所に建てられた。

敏事の名さえ刻むことのできなかつた荒削りの自然石の横に立つこの顕彰碑は言う。

「敏事や今福集落の青年を含めておびただしい人々の犠牲の上に戦後の平和憲法はつくられた。死を賭して信念を貫いた敏事に敬の念を寄せるものである」

敏事の名さえ刻むことのできなかつた荒削りの自然石の横に立つこの顕彰碑は言う。

「敏事や今福集落の青年を含めておびただしい人々の犠牲の上に戦後の平和憲法はつくられた。死を賭して信念を貫いた敏事に敬の念を寄せるものである」

（長崎県本部 力武晴紀）

支部女性部を結成

千葉県・市川・浦安支部

2月12日市川市内で、「市川浦安支部女性部結成のつどい」が開かれ、会場いっぱいの38人が参加。千葉県内で初の支部女性部が発足しました。

5月結成めざし

青年部準備会開く

東京都本部



続いて、1歳

女性たち」と題して記念講演、治安維持法により20歳代の若さで命を奪われた伊藤千代子、飯島喜美たちのたたかいについて話しました。

東京都本部は2月3日、奈良・高知の交流集会に学び、青年部結成準備会を開きました。参加者は、山添拓参議院議員、地区青年担当、区議2人、都本部から会長をはじめ青年担当が参加。戦前の歴史を学びたい。広い青年に歴史の真実を訴えていこう、など活発な討論になりました。部長に山添拓さん、事務局

本部顧問）が、乳幼児保育と民主化運動に捧げた父近藤一男と母糸子の不屈の生涯を、小学校などで行っている「語り部」活動について話ました。

日本共産党千葉県議の岡田幸子さんと同県委員会の浅野ふみ子女性部長があいさつしました。

事務局次長とし、3月に開く第2回準備会で、5月をめざし結成総会の内容をきめます。



参加者からは、「中身の濃い講演と治安維持法犠牲者での家族の方の話に胸を打たれた」「今やるべきことは山積していますが、粘り強く活動していきたい」など、感動の声が寄せられました。

抵抗の群像



新興仏教青年同盟を結成

妹尾義郎
せのう ぎろう

戦前の仏教界において唯一といつてよいくらい戦争に良心的抵抗を示した「新興仏教青年同盟」のリーダー妹尾義郎は、広島県庄原市東城町の酒造業の家に1889年に生まれた。東京都八王子市にある高尾山有喜苑仏舎利奉安塔の一隅に妹尾の石碑がある。

そこには、「(岡山)県立高梁中学を卒え旧制一高に入学、在学中結核を患い進学を断念し法華経を研鑽、宣布に務めた。然し時代思潮との矛盾を感じ自ら仏教革新を発願し、昭和6年4月新興仏教青年同盟を創立、その先頭に立ち不惜身命の活動を進めた。特に軍国主義に反対し平和主義を強調した。是がため、軍務権力の弾圧にあり、昭和12年治安維持法違反として同盟の解散を命ぜられ、同志200余人が検挙投獄された。然し乍ら、先生の高邁な理想と不抜

の信念とは同志の心に深く刻まれており、戦後の宗教平和運動を受け継がれている。先生は近代佛教平和運動の先駆者であり、日本とアジア諸国との交流をはじめ世界平和の推進者」と刻まれている。

妹尾は肺結核で一高退学を余儀なくされたが、故郷東城で療養生活を送り、信仰に目覚め、断食、玄米食、水行など自然療法を試み、懸命な努力の末、10年がかりで病苦を克服し、「自分は宗教家となるの一路に於てのみ、生命があり光明がかかる」という信念のもと、再び上京する。

そして大日本日蓮主義青年団を結成、「仏陀を背負いて街頭へ、農村へ」というスローガンのもと、街頭に出て巡回し教化すべきと「動く寺」を發足させるなど、社会的実践を重ねた。

小作争議などにかかわり、社会本領に立ち帰つて戦争を再批判すべきである」と反戦の訴えを明確にし、水平社運動とも連帶、また仏教消費組合を提唱し、広島の細川崇円や前田陸雄らと、消費組合運動の農村への拡大を考えた。無産政党とのかかわりも深め、東京市電の争議を支援し労働運動にもかかわつていった。

妹尾は加藤勘十の要請で35年3月に『労働雑誌』の編集発行人になり、人民戦線ともかかわりを持つようになる。そして二・二六事件が起きた36年12月、人民戦線運動関係者など千人あまりが治安維持法違反で検挙され、その2日後、妹尾も『労働雑誌』の編集にかかり、新興仏青同盟員ら200余人が一斉検挙され、うち29人が起訴された。懲役3年の刑をうけ入獄した日、妹尾は、次の歌を詠んだ。

「道場と思い定めし獄舎なり
は一齊に、仏陀に帰一せん事を提唱する」(宣言より)と新興仏教青年同盟を、日本の中国侵略が本格化する1931年の4月に結成。新興仏青は、「仏徒は人類教の同志」と新宗教同盟をくり、48年4月には仏教社会主義本領に立ち帰つて戦争を再批判すべきである」と反戦の訴えを明確にし、水平社運動とも連帶、また仏教消費組合を提唱し、広島の細川崇円や前田陸雄らと、消費組合運動の農村への拡大を考えた。無産政党とのかかわりも深め、東京市電の争議を支援し労働運動にもかかわつていった。

妹尾は加藤勘十の要請で35年3月に『労働雑誌』の編集発行人になり、人民戦線ともかかわりを持つようになる。そして二・二六事件が起きた36年12月、人民戦線運動関係者など千人あまりが治安維持法違反で検挙され、その2日後、妹尾も『労働雑誌』の編集にかかり、新興仏青同盟員ら200余人が一斉検挙され、うち29人が起訴された。懲役3年の刑をうけ入獄した日、妹尾は、次の歌を詠んだ。

「私もどうやら、たどたどしい人生でしたが今日、共産運動の末席に加わつて赤旗でつしまれて死ねるつてことは、私の最高の名誉のように考えている次第です」

(広島県本部
名越弘文)

短歌

碓田のぼる選

追悼をこぼみし都知事に向く怒り震災記念碑に併つ
心は炎
戦争に向かいひしめく動きあり友よ死んでる場合か
柩より起て
君の漕ぐ自転車の灯見えつ隠れつ花あらしの夜のり
ソゴ烟に
真白な雪に埋もれしわが街も「森友疑惑」が話題を
イギリスで孤独担当相設置さる現代社会の悲しい現
南北の統一ランナー階段を登りつめ点火したるが燃
えあがりゆく
稲嶺氏敗れはしたが辺野古には基地はいらぬと民意
は叫ぶ
白秋の思い伝える城ヶ島沖行く船も小雨に煙る
住宅地に自衛隊のヘリ墜ちて不安拡がる基地周辺に
80歳になりても9条守らんと孫のためにと年賀に綴
る
(選のあとに)先頭歌、小池都知事の変節への作者
の渾身の怒りです。また、一番歌の四句は、亡くなつ
た友への深い哀惜の表現と云えましよう。三番歌は、
花あらしの夜の、見えつ隠れつする夫の姿を追う愛
の表現。

俳句

望月たけし選

創立50周年記念会員拡大
5人以上の顕彰者

不屈とは自分見直す年始め

石川県 野村 芳泉

埼玉県 小池 莊八

神奈川県 天野三葉子

前崎 茂

岩手県 岩手県

三重県 橋本しげる

【東京】4名(累計10名)

【北海道】1名(累計11名)

【静岡】1名(累計4名)江川

【愛知】2名 若山晴史、加藤

【福井】1名(累計4名)大石

【佐賀】1名(累計4名)北口吉治

【長崎】1名(累計4名)志賀正、風間秀子

【熊本】1名(累計4名)菊池誠一、吉田忠文、

【福岡】1名(累計4名)江川

【鹿児島】1名(累計4名)佐一

【宮崎】1名(累計4名)佐一

【鹿児島】1名(累計4名)佐一

【沖縄】1名(累計4名)佐一

【新潟】1名(累計4名)佐一

諦めぬ声満ちて島の春

石川県 野村 芳泉

埼玉県 小池 莊八

神奈川県 天野三葉子

前崎 茂

【東京】4名(累計10名)

【北海道】1名(累計11名)

【静岡】1名(累計4名)江川

【愛知】2名 若山晴史、加藤

【福井】1名(累計4名)大石

【佐賀】1名(累計4名)北口吉治

【長崎】1名(累計4名)志賀正、風間秀子

【熊本】1名(累計4名)菊池誠一、吉田忠文、

【福岡】1名(累計4名)江川

【鹿児島】1名(累計4名)佐一

【鹿児島】1名(累計4名)佐一

訂正

本紙前号5面「北から南から」山梨・北杜支部結成の記事中、3行目「この地域……から8行目……いました」まで削除します。



現代のたたかいに多喜二から学ぶ 第30回記念多喜二祭に1200人

2月12日、

なかのゼ日本

ルで杉並・中

野・渋谷第30

回多喜二祭が

開かれ、沖縄

の名護市、原

発被害の福島

の檜葉町、記

録的な大雪の福井、富山など遠方はじめ、1200人が参加。

荻野富士夫小樽商大教授が「小林多喜二の生きた時代と現代『我等何を、如何になすべきか』と題し記念講演をし、「現代のたたかいに多喜二から学ぼう」とむすびました。

香山リカさんは戦前のような時代がもどつて来ているとのべ、「口をつぐまず、声を上げよう」と話しました。日本共産党の小池晃書

中央理事会の開催について

左記の通り中央理事会を開催いたします。

日時4月17日(火)10時~16時30分

※会議招集は、各県本部から中央理事へ連絡いたします。万障繰り合わせて出席してください。

記局長は「戦争の足音が再び聞こえる時代、多喜二のようにたたかおう」と挨拶をしました。

初参加の青年は「このような行事に感動しました。没後85年を経て、かくも大勢の参加者をもつて讃えられ、今日を生きる私たちに社会の方向を示す多喜二に触れることができました」と感想を寄せていました。

名護市長選で決意 たたかいはこれから

(実行委員長 高木典男)

全国的に注目されていた2月4日投票の名護市長選挙結果は、残念ながら辺野古新基地建設に反対する稲嶺進さんの3選はなりませんでした。有権者総数48781人、投票総数37524人、投票率76.92%。2月4日投票15864人、期日前投票21660人。

1月31票、渡具知武豊20389票。出口調査によると、辺野古移設反対は64.6%、賛成25.1%です。投票日の翌日5日午前、米軍キャンプ・シュワブ前で、約90人の市民のみなさんが座り込み、

反対の声をあげています。10月9月の名護市議選でのオール沖縄勢力の過半数獲得を誓い合いました。翁長雄志沖縄県知事は5日県庁で、「民意は生きている」と語り、また14日開会した沖縄県議会定例会で、「辺野古に新基地はつくらせない。全力で取り組む」と表明しています。沖縄のたたかいはこれからです。

事務局日誌

(沖縄県本部 村山 純)

2月26日	2月22日	2月20、21日	2月17日	2月16日	2月6日	2月7日	2月10日
会	東京「春を呼ぶつどい」	国際人権活動日本委員会幹事会	安保破棄実行委全国代表者会議	無名戦士合葬追悼会実行委員会	全労連会館運営委員会	会長、事務局会議	日本のうたごえ運動創立70周年記念祝賀会
日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会	日本母親大会実行委員会
平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会	平和の権利実行委員会

2018年春季号

『治安維持法と現代』

4月15日発売

【主な内容】 治安維持法の歴史認識を問う=山田朗明治大学教授。創立50周年を迎えて一同盟運動の今日的意義と展望=増本一彦会長。2017年度国会請願紹介議員一覧。告発「猿ぐつわ・後ろ手錠」一横浜事件・森敷男メモ発見=森伸一《多喜二没後85年》多喜二とロマン・ロランー幻の抗議文=高橋純小樽商大教授、『戦旗』防衛三重会場=岡村洋子。「ヴェルダ・マーヨ」へ=越山のぶ子。多喜二インタビュー「種子は蒔かれた」。〈エッセイ〉歌を通して伝える先人のたたかい=ケイ・シュガ。〈顕彰碑〉窪田精の生涯と文学碑=三浦光則。〈抵抗の群像〉『埼玉人民戦線事件』=山口勇。民衆の代議士になった山本宣治=森田秀雄。山宣葬列と絵画「告別」「労働葬」=永島民男。〈同盟運動〉北海道同盟の組織建設の教訓と展望=宮田汎。女性部の課題と展望=大石喜美恵他。

A 5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

国際部通信

「不届」No.525号付録 2018年3月15日

治安維持法による犠牲者に対する賠償を！
(自由権規約第7条、18条に違反)

国会請願を43年間続ける
治安維持法犠牲者国家賠償要求
同盟は、明治憲法下において政府
が推し進めた侵略戦争と植民地
支配に反対し、平和と民主主義
と国民の暮らしを守るために、
生命を賭して、治安維持法をはじめとする治安法規による弾圧す。

治安維持法による犠牲者に対する賠償を！
(自由権規約第7条、18条に違反)

と闘い抵抗した先達たちが、今日
の日本国憲法に掲げられた国民主
権主義、平和主義と個人の尊厳を
擁護する基本的人権尊重主義を生
み出す礎となつた業績を国権の最
高機関である国会と政府において
正當に評価し、彼ら先達たちを顕
彰することを求めて国会および政
府に請願運動している団体であり
ます。43年間にわたり取り組み、
国会に積み上げた署名は890万
筆、地方議会における意見書採択
は404地方自治体に及んでいま
す。

今回は国際人権機関に提出した二つのカウンターレポートを掲載することにしました。一つは2016年11月14日に行われた第三回UPR政府報告審査に対して同盟国際部が出たカウンターレポートです。もう一つは昨年11月に採択された自由権規約第七回日本政府報告に先立つリスト・オブ・イッシューズ採択に向けた同盟国際部のカウンターレポートです。

第3回UPR（普遍的・定期的）日本政府報告審査へのカウンターレポート

虐殺3人以上、被害者は数十万人に
いた第三回UPR政府報告審査に対して同盟国際部が出たカウンターレポートです。もう一つは昨年11月に採択された自由権規約第七回日本政府報告に先立つリスト・オブ・イッシューズ採択に向けた同盟国際部のカウンターレポートです。

虐殺3人以上、被害者は数十万人に
いた第三回UPR政府報告審査に対して同盟国際部が出たカウンターレポートです。

されています。逆に先の戦争は
「アジア解放の為の戦争であつ
た」 「自存自衛の聖戦であつた」
と歴史を偽り、再び戦争できる
超え、拘束、拷問された被害者は
数十万人に及びます。罪刑法定主
義に反して、「為にする行為」と
して教育、学問、思想信条までも
が拘禁、拘束の事由となりました。

自由権規約、拷問禁止条約に反
する権力犯罪が常態化して、戦争
推進体制が作られていきました。
戦後、降伏条件となつたポツダム
宣言第10条に「民主主義的傾向
の復活強化に対する一切の障碍を
除去すべし」と明記された国際社
会との誓約を実行するものとして
治安維持法は廃止されたのです。

再び戦争でくる國へ暴走する政府
は404地方自治体に及んでいま
す。

戦後70年以上になる今日に至
るも、この悪法によつて弾圧さ
れた人々の名誉は回復されず、
一切の補償もされていません。
戦後の国際社会のスタートとなつ
たポツダム宣言、日本の国際公
約を誠実に実行することが求め
します。

治安維持法で犠牲になつた人は、
虐殺93人以上、獄死者400人を
超え、拘束、拷問された被害者は
数十万人に及びます。罪刑法定主
義に反して、「為にする行為」と
して教育、学問、思想信条までも
が拘禁、拘束の事由となりました。
自由権規約、拷問禁止条約に反
する権力犯罪が常態化して、戦争
推進体制が作られていきました。
戦後、降伏条件となつたポツダム
宣言第10条に「民主主義的傾向
の復活強化に対する一切の障碍を
除去すべし」と明記された国際社
会との誓約を実行するものとして
治安維持法は廃止されたのです。

再び戦争でくる國へ暴走する政府
は404地方自治体に及んでいま
す。

戦後70年以上になる今日に至
るも、この悪法によつて弾圧さ
れた人々の名誉は回復されず、
一切の補償もされていません。
戦後の国際社会のスタートとなつ
たポツダム宣言、日本の国際公
約を誠実に実行することが求め
します。

同盟は国際人権機関に1995
年以来「日本国政府は治安維持法
が人権侵害の悪法であつたことを
認め、西洋諸国と同じように犠牲
者に対して謝罪と賠償を行うよう
に勧告して欲しい」と通告してき
ました。第3回UPR日本国審査
で治安維持法犠牲者の問題を国際
人権法に照らして、厳格な指摘と
勧告がなされることを強く要望致
します。

自由権規約第7回日本政府報告に先立ち、リスト・オブ・イッシューズの採択にむけた同盟のカウンターレポート

治安維持法犠牲者への謝罪と賠償の実現を日本国政府に勧告をして下さい

第一次世界戦争後から第二次世界大戦終結までの20年間（1925年～1945年）、日本では、他国への侵略と植民地支配に反対し、國民主権を主張して闘い抵抗した人々は、治安維持法にもとづき特別高等警察などの官吏によって暴虐と凌辱が加えられました。

現在までに、小林多喜一など93人が虐殺されたことが判明しています。獄死者や逮捕投獄、拘束され拷問された被害者は数十万人に及びました。

治安維持法は日本国内だけではなく、植民地朝鮮ではさらに激しく猛威を振るいました。国策である戦争に反対して抵抗した人々は、國賊、非国民、売国奴などと罵られ、暴虐と凌辱の人権侵害を受けました。これらは、自由権規約第7条、第18条に違反した人道に対する犯罪行為でした。

現在までに、小林多喜一など93人が虐殺されたことが判明しています。獄死者や逮捕投獄、拘束され拷問された被害者は数十万人に及びました。

治安維持法は日本国内だけではなく、植民地朝鮮ではさらに激しく猛威を振るいました。国策である戦争に反対して抵抗した人々は、國賊、非国民、売国奴などと罵られ、暴虐と凌辱の人権侵害を受けました。これらは、自由権規約第7条、第18条に違反した人道に対する犯罪行為でした。

国际人権、人道法の見地からの戦後処理を2008年に統合して2014年の規約委員会の総括所見でも、「従軍慰安婦」制度の法的責任と犠牲者救済に重大な関心を示されていることに共鳴するものであります。人権、人道に反する罪として、清算されていないもう一つの問題が治安維持法の犠牲者たちです。

日本政府は人権規約を批准した1979年以前のことについて答えることは適切でないとしながら、お回復されず継続されているのであれば、このことが、人権侵害を受けた被害者の遺族はもとより親族の少くない人々が肩身の狭い思いで生活されているのです。

そして、今日の日本政府は、あの侵略戦争を「アジア解放のための戦争であった」、「自存自衛の聖戦であった」と歴史を偽り、再び戦争できる国にしようと暴走を続けています。

本政府報告審査の審議でも日本政府は同様の態度をとりました。しかし、「自由権規約批准以前」の戦争であったと歴史を偽り、再び戦争できる国にしようと暴走を続けています。

よって、貴委員会が今回の自由権規約政府報告審査の中で、自由権規約委員会から治安維持法犠牲者の問題を國際人権法に照らして、厳格な指摘がなされること、また、当該問題をリスト・オブ・イッシューズにリストアップし、日本国政府に對して報告を求める措置をとることを強く要望いたします。

時効不適用条約の早期批准とあわせ、自由権規約第7条、第18条の遵守という國際人権、人道法の見地からも一刻も早い問題解決が求められています。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、1995年人権小委員会に通報を提出しました。

通報内容は、「日本国政府は治安維持法が人権侵害の悪法であつたことを認め、西洋諸国と同じように戦争に対する謝罪と賠償を行つよう勧告して欲しい」といふことです。

よつて、貴委員会が今回の自由権規約政府報告審査の中で、自由権規約委員会から治安維持法犠牲者の問題を國際人権法に照らして、厳格な指摘がなされること、また、当該問題をリスト・オブ・イッシューズにリストアップし、日本国政府に對して報告を求める措置をとることを強く要望いたします。